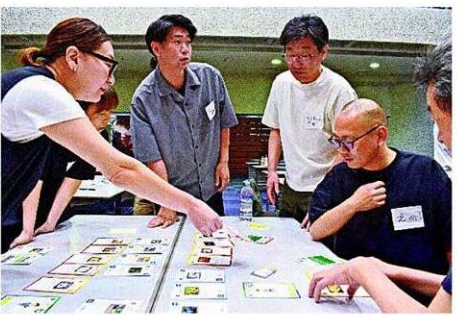


カードゲーム使い 森林の持続性学ぶ

馬場設計が研修

公共建物の設計・監理を行う馬場設計（甲府市塩部、代田一郎社長）は3日、甲府・山梨YBSホールで、森林の持続、活用を考えるゲーム「moritomirai（モリトミライ）」を使った研修を行った。

社内交流の活性化や社員の自主性向上を目的に実施し、従業員ら約20人が参加。同ゲームの公認ファシリテーターで、アドヴォネクスト（中央市山之神）の井上雅博社長が進行役を務め、ゲームを説明し、対話作法を解説した。



「モリトミライ」を使って
対話する参加者

＝甲府・山梨YBSホール

モリトミライは参加者全員が一つの町に住む設定で、与えられた役割をこなしながら森林維持、活用を目指すカードゲーム。山梨日日新聞社が開発した。

代田社長は「チームで仕事をする際のコミュニケーションに役立ててほしい」と話し、参加した鈴木翔太さん（26）は「話し合いながら結論を求めたので答えが出せた」と語った。

〈金井洋平〉